

開催記録

1. 件名

伊賀市若者会議×かめやま若者未来会議 交流会

2. 日時

令和元年 11 月 10 日(日) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分

3. 場所

亀山市役所本庁舎 3 階 大会議室

亀山公園芝生広場

4. 参加者

伊賀市若者会議メンバー:11 人

かめやま若者未来会議メンバー:7 人

伊賀市事務局:3 人

亀山市事務局:伊藤

5. 事項

(1)開会あいさつ

(2)各若者会議事業の紹介

事務局より各若者会議事業の取組内容等について発表しました。

(3)アイスブレイク(グループ決め)

全員でじゃんけん列車を行い、グループ決めを行いました。A～D の 4 チームを作りました。

(4)ワークショップ

①自己紹介(1分スピーチ)

各グループで自己紹介を行いました。名前、呼んでほしいあだ名、普段していることや趣味、若者会議に入ったきっかけなどを共有しました。

②グループ対抗！伊賀市・亀山市プチクイズ

グループで仲良くなってもらうとともに、伊賀市・亀山市のことを知ってもらうためのグループ対抗のクイズを行いました。全8問のクイズで、どの問題も難易度が高く、競い合う結果となり、大盛り上がりでした。

③お国自慢

みんなが打ち解けたところで、チームごとにそれぞれのお国自慢(伊賀と亀山のよいところ)を出し合いました。また、チームでの共有後、メンバー全員での共有も行いました。

主な意見として、伊賀市では、土地が広く、食べ物がおいしいとの意見が、亀山市では古い町並み(関宿)が残るとともに、ごみの分別や家賃が安いなどの暮らしやすさについての意見が出ていました。また、共通した意見として、名古屋や大阪などへのアクセスがよく、のどかなところが魅力的との意見が出ていました。

④意見交換

「地元をこんな風にしたい！」をテーマにチームごとに意見交換をしました。また、チームで出た意見を全員で共有しました。

主な意見として、

- ・観光地としてみんなに来てもらえるようなまちにしたい。そのために情報発信をしたい。
- ・いろいろな人に知ってもらおうとともに、市民が誇りをもって生活できるようにしたい。
- ・若者が遊べるまち、夜も遊べるまちにしたい。
- ・鉄道の本数を増やしたい。
- ・甲賀忍者に勝ちたい。
- ・帰ってくる場所として、市民に寄り添ったまちづくりをしたい。

などの意見が出ました。「観光地」「知ってもらおう」などの情報発信に関することや、「忍者」「誇り」「帰ってくる場所」などのシビックプライドの醸成につながることで、若者も楽しく暮らせるまちづくりなどに大きくまとめることができ、その実現のためにはどうしたらよいかを考えていく必要があると意見共有をしました。

(5)レクリエーション

亀山公園の芝生広場に移動し、ドッジビーとしっぽ取りを行い、体を動かしながら、交流を図りました。

伊賀市の若者会議はドッジビーを3時間練習して、この日を迎えたとのことでしたが、かめやま若者会議が勝利を収めました。

①ドッジビー

伊賀市 VS 亀山市 2回 ABチーム VS CDチーム 1回

②しっぽ取り

個人戦 1回

(6)閉会あいさつ

6. 総括

他市の若者会議との交流会は初めての試みで、メンバーも初めは緊張気味でしたが、すぐに打ち解けあい、わいわいと盛り上がりながら、交流を行うことができました。

伊賀市がお隣の市であることもあり、共通したまちの様子や課題などもあり、それぞれの活動に対して活発に意見交換し、互いに刺激を受けた様子でした。

次回はぜひ伊賀市に訪問し、今後も交流を続けていこうと話をし、交流会は盛況のうちに幕を閉じました。



